令和３年度　事業報告書

１．概　況

令和３年度は、一昨年度から続く新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ感染症」という。）拡大に対する緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等が繰り返し発出されたことから新宿区シルバー人材センター（以下「センター」という。）を取り巻く社会経済情況が大きく変動し、センターが就業活動や社会参画活動など様々面で大きな影響を受けた一年でした。

センターは、中期経営計画である「令和３年度以降の新宿区シルバー人材センター経営方針」に基づき、「会員の安全・安心」を第一に「会員の拡大と資質の向上」及び「就業機会の拡大」「地域社会への貢献活動」そしてこれらを支える「安全就業の徹底」及び「周知活動の強化」、「組織基盤の強化」を推進しています。

また、コロナ感染症の拡大は秋口に入り一時小康状態を得たものの、新たな変種株等による感染症のリバウンド(再拡大)が懸念されていたことから感染症拡大防止策を徹底しながら事業を進めています。

令和３年度事業においては、インターネット入会説明会並びに新聞折り込み・ホームページ等によるＰＲ活動、インターネット受注システムの導入などにより、会員の増加や就業機会の拡大、様々な就業支援研修による会員の就業力向上などに取り組みました。就業活動の受注状況については、夏ごろまではコロナ感染症流行前への回復基調でした。その後の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出などを契機に減少基調が現れてきました。また、地域班活動や地域貢献活動については、コロナ感染症拡大により多くの会合やイベントなどを中止または自粛、延期せざるを得ませんでした。

本年度の実績は、契約金額が約６億5700万円で、前年度比5.7%の増加でした。会員数は年度末で1,694人、前年度比24人の増加でした。こうした実績については、コロナ感染症流行前の水準には至っていませんが、感染症拡大による影響を最小限にとどめ、一定の回復傾向にあるものと捉えています。

令和３年度の各事業の実施結果につきまして、次のとおり報告いたします。

２．周知活動の強化

(1) 普及啓発活動等実施状況

新たに「YouTube チャンネル」と「LINE 公式アカウント」の設置を実施しました。また、新宿法人会との連携による仕事募集を新たに行いました。広報誌「まあるい」の発行は、コロナ感染症拡大のもとで会員による編集活動が困難であったことから、1 回に減じました。

Ｐ　Ｒ　方　法	実　施　内　容	実施回数
印刷物の作成	イメージカラーである赤色を用いた、事業全般に関するチラシ、単価表、ポスターを作成	随時
会報の発行	広報紙「まあるい」の発行・全会員等に配付	1 回
機関紙の発行	「事務局だより」の発行・全会員配付	12 回
区広報の活用	「広報しんじゅく」に入会募集及び受講生募集等掲載	13 回
ホームページの活用	センター事業等の周知及び受注状況一覧を掲載 ネット入会説明会システム実施 ネット受注システム実施	常時
ポスター掲示 PR しおりの配置	ポスターを区施設・町会掲示板に掲示 ＱＲコード入りしおりを図書館に配置	随時
YouTube チャンネルの設置	YouTube 上に「公益社団法人新宿区シルバー人材センター」チャンネルを公開	1 回
LINE 公式アカウントの設置	センター会員を対象に事業周知を実施	2 回
個人へのチラシ配布	イベントに参加し、センターＰＲチラシおよび手づくりショップ・ふれあい、らくらくリフォームウエア、家事援助等各種事業チラシを配布	2 回
法人へのチラシ配布	新宿法人会と連携し、新宿法人会会報に仕事募集チラシを同封し配布 計 8,700 部	9 月号 3 月号
就業開拓訪問活動	企業や町会等の地域関係者を訪問し、ＰＲ、受注案内を実施、一般家庭へポスティング実施：約 2 万 6 千部	207 事業所 204 町会等
スマートフォン相談会の実施	東京都と協力し、スマートフォン相談会を実施	1 回
玄関前掲示板掲出	自主事業チラシ、作品掲出及びチラシ入れの活用	9～3 月
新聞折込み	センター事業ＰＲチラシを区内対象に折込み 計 79,300 部	12 月 1 日 3 月 29 日

(2) イベントへの参加状況

コロナ感染症拡大のもとで、例年参加していた地域センターまつり等は開催中止となりました。

項　　目	参 加 年 月 日	参　加　場　所	参加者数
シニアしごと EXPO２０２１	10 月 7 日	新宿 NS ビル	8
シルボンヌ全国大会	1 月 19 日	コングレスクエア日本橋	6
これからシルバー応援フェスタ	1 月 28 日	練馬区立区民・産業プラザ	2

３．会員の拡大と資質の向上

(1) コロナ感染症防止を徹底したうえで、対面入会説明会(31 回開催)、およびネット入会説明会(常時)、出張就業相談(9 回開催)を実施しました。会員数は前年度比で 24 人、1.4%の増で、令和 4 年 3 月 31 日現在 1,694 人となりました。

会員	3 年度			2 年度			差　　引		
	入会者	退会者	年度末	入会者	退会者	年度末	入会者	退会者	年度末
男(人)	115	101	980	106	116	966	9	△15	14
女(人)	103	93	714	97	103	704	6	△10	10
計(人)	218	194	1694	203	219	1670	15	△25	24

(2) 会員の就業力の向上などを図る研修は、コロナ感染症拡大の影響により、就業会員研修は 9 月・10 月開催を 12 月・1 月開催に延期しました。役員研修は対面開催からインターネットによる動画配信(3 月)に変更しました。

区　分	研　　修　　内　　容	実施回数	受講者数
センター研修	新入会員研修(接遇研修)	30 回	208 名
	就業会員研修(接遇・安全就業研修等)	3 回	55 名
	家事援助接遇研修	2 回	16 名
	生活援助員研修（新宿区主催）	3 回	14 名
第 3 ブロック合同研修 中野区・杉並区 板橋区・豊島区 練馬区・新宿区	代表理事等会議 「就業拡大に向けたシルバー会員入会促進の取り組みについて」	1 回	3 名
	役員研修「シルバー派遣事業における課題と展望」※動画視聴よる研修	1 回	10 名
	安全就業研修「一人危険予知について」	1 回	9 名

４．就業機会の拡大

長引くコロナ禍の中で、就業機会の拡大を図るため、本年 10 月より、新たにインターネットによる「ネット受注」を開始し、発注者等の利便性を高めました。

(1)　就業実績

コロナ感染症拡大の影響を受けた就業希望者の減少などより、就業率は67.6%で前年度比4.1%の減でした。

項　目	３年度	２年度	差　引	増　減　率
年度末会員数(人)	1,694	1,670	24	1.4%
就業実人員（人）	1,145	1,197	△52	△4.3%
就業率（%）	67.6%	71.7%	△4.1%	

(2) 就業相談

対面入会説明会の参加者が163名、ネット入会説明会申込みの参加者が87名で参加者の合計は250名でした。参加者のうち218名が入会登録に至り、入会率は87.2%(対面入会説明会は、地域説明会の代替え措置である土曜日対面入会説明会も含む)でした。

相談会名	実施回数等	参加者数
対面入会説明会	31回(毎月開催)	163名
地域説明会	中　止	―
ネット入会説明会	常　時	87名
個別就業相談会	13回(毎月開催)	159名
出張相談(10ヵ所)	９回(１１・12月開催)	60名

(3) 新たな就業への取り組み(シルバー派遣事業)

派遣事業の案内チラシの送付やポスティング、訪問営業の他、10月より新たに導入したネット受注システム等の取り組みにより、前年度と比べ受託件数は66.0%の増、契約金額は16.2%の増となりました。

項　目	3年度	2年度	差引	増減率
受託件数(件)	83	50	33	66.0%
就業実人員(人)	45	39	6	15.3%
就業延人員(人)	4,275	3,807	468	12.2%
契約金額(円)	30,228,399	26,004,172	4,224,227	16.2%

(4) 自主事業

コロナ感染症拡大の影響により、一部の教室を規模縮小または中止したことが収入額の減少につながりました。

書道教室、らくらくリフォームウエア、手づくりショップ・ふれあいの収入

額の増加については、コロナ禍で開講・営業できる期間が短かった昨年度との比較によると考えられます。
また、コロナ禍でもリモートで開講できるように4階教室1・2にWi-Fiが利用できる環境を整備しました。

（単位：円）

項　　目	3年度	2年度	差　引	増減率
パソコン教室	155,000	562,400	△407,400	△72.4%
書道教室	816,000	688,000	128,000	18.6%
手編み教室	184,500	222,000	△37,500	△16.9%
ここ・から英会話	834,100	837,130	△3,030	△3.6%
らくらくリフォームウエア	2,094,736	2,089,341	5,395	2.5%
手づくりショップ・ふれあい	874,630	757,940	116,690	15.4%
包丁研ぎ	0	0	0	0%
合　計	4,958,966	5,156,811	△197,845	△3.8%

(5) 事業実績

①コロナ感染症拡大の影響等により、前年度と比べると、受託件数で1.2%の減でした。契約金額は、公共事業及び民間事業の企業が増加し、民間事業の家庭と自主事業が減少しました。公共・民間事業を併せた全体は、5.7%増加しました。

事業別		受託件数（件）				契約金額（円）			
		３年度	２年度	差引	増減率	３年度	２年度	差引	増減率
公共事業		291	264	27	9.3%	312,815,732	291,517,252	21,298,480	7.3%
民間事業計		10,957	11,116	△159	△1.4%	344,268,332	330,000,535	14,267,797	4.3%
	企業	5,313	5,119	194	3.8%	270,417,850	250,639,836	19,778,014	7.9%
	家庭	5,595	5,951	△356	△6.0%	68,891,516	74,203,888	△5,312,372	△7.2%
	自主	49	46	3	6.5%	4,958,966	5,156,811	△197,845	△3.8%
合　計		11,248	11,380	△132	△1.2%	657,084,064	621,517,787	35,566,277	5.7%

②家事援助・育児支援サービス事業は、前年度と比べると、受託件数で6.7%の減、契約金額で8.6%の減でした。
また生活援助サービス事業については、受託件数が2.3%の減でしたが、コロナ禍でも通常どおり仕事に来て欲しいという発注者の利用回数が増えたことから契金額は2.7%の増でした。

	家事援助・育児支援サービス				生活援助サービス			
	3年度	2年度	差引	増減率	3年度	2年度	差引	増減率
受託件数（件）	1,992	2,135	△143	△6.7%	645	660	△15	△2.3%
就業実人員（人）	106	119	△13	△10.9%	40	52	△12	△23.1%
就業延人員（人）	8,993	9,636	△643	△6.7%	404	440	△36	△8.2%
契約金額（千円）	28,524	31,194	△2,670	△8.6%	4,501	4,383	118	2.7%

(6) 適正就業の促進

①令和4年1月、東京しごと財団による「適正就業巡回指導・就業現場巡回」が実施されました。指摘に基づき令和4年度より、契約書書類等の修正・追加を行います。また、就業の現場巡回(公共施設1件)については、適正に業務が遂行されていることが確認されました。

②シルバー人材センターにおける適正就業の徹底を図るため、適正就業ガイドラインに基づき職員及び就業開拓専門員による仕事内容確認及び就業現場の巡回を行い、発注者や会員のセンター事業に対する理解促進に取り組みました。

③公平な就業機会の提供のため、ローテーション就業やワークシェアリングを推進しました。

５．安全就業の徹底

(1) 安全就業活動実施状況

７月を「安全就業強化月間」と定め、安全就業パトロールを実施するとともに、傷害事故損害賠償事故の防止、及び安全就業や会員の健康管理を呼びかけました。また、自転車保険への加入と助成金支給によるヘルメット着用を推進しました。

項目・テーマ	実施回数	講師等	実施場所等	参加者数等
植木用機材の定期点検	12回	事務局	シルバー人材センター	3名
安全就業だより発行	12回	事務局	全会員に配付	—
転倒事故予防冊子の配付	30回	事務局	新入会員に配付	—
普通救命講習会	1回	東京防災救急協会指導員	シルバー人材センター	11名

令和４年度安全就業標語募集・選定	１回	安全委員会	「転ばない　心の余裕と　強い脚」 「慣れた道・安全確認・心掛け」	応募者 14 名 作品 27 点
自転車用ヘルメットの購入助成	3 回	事務局	ヘルメット購入会員に助成	18 件

(2) 安全就業パトロール

安全委員会委員による安全就業パトロールを、新規契約先現場、パトロール未実施現場を中心に実施し、事故防止に取り組みました。

パトロールした 32 件で安全意識、服装・保護具、作業環境、作業用具等、共同作業、緊急時対応、健康管理、コロナ対策の８項目の安全就業チェックを行った結果、問題点は見当たりませんでした。

(3) 感染症予防対策

コロナ等感染症予防対策として、携帯用うがい薬、手洗い石鹸、手指消毒剤を購入して、全会員に配付しました。

(4) シルバー保険

令和２年度は、コロナの影響で就業機会が減り事故件数も減少しましたが、令和３年度は、降雪による転倒や虫刺され事故が目立ち、また自転車での転倒事故が多かったことから、事故件数が大幅に増える結果となりました。

今後も慌てない安全第一の行動とともに、損害賠償責任事故が発生しないよう、安全意識の普及啓発に努めていきます。

項　　目		３年度	２年度	差　引
傷害事故　計（件）		21	13	8
	就業中	10	8	2
	就業途上	11	5	6
損害賠償責任事故（件）		6	3	3
合　計（件）		27	16	11

６．地域社会への貢献活動

(1) コロナ感染症の拡大により、令和２年度に引き続き全てのボランティアを中止しました。また、新たに製作・配布を予定していたボランティアジャンパーの入荷はコロナ感染症の影響により次年度になりました。今後、ボランティア従事会員に配布し、ボランティア活動とセンターの PR に活用していきます。

コロナ感染症拡大防止のため中止	
ごみゼロ運動	ボランティア強化月間事業 ここ・からまつり防犯パトロール
お手玉作り	ここ・からまつり お手玉体験ボランティア
防犯パトロール	新宿年末クリーン大作戦
新宿シティハーフマラソン	新宿打ち水大作戦
センター周辺の道路清掃	放置自転車クリーンキャンペーン
地域班による道路美化清掃 (四谷・戸塚・落合第一・落合第二地区)	ポイ捨て防止 路上喫煙禁止キャンペーン
使用済み切手収集	

(2) 第 9 回ここ・からまつり実施状況

第 9 回ここ・からまつりはコロナ感染症の拡大防止のため中止となりました。

７．組織基盤の強化

(1) 自主自立の組織運営

定時総会 新宿区立新宿文化センター大ホール	6 月 23 日(水)	参加者 1,265 名 (委任状提出者等含む)

定時総会については、コロナ感染症の拡大が懸念されたことから、会員の安全確保を最優先に開催しました。(出席者；18 名、委任状提出者；1,062 名、議決権行使書提出者；185 名)

項 目	規模等
理事会	定例 12 回・臨時 2 回
理事及び監事推薦委員会	1 回
総務委員会	開催無し
事業委員会	6 回＋書面審議 1 回
広報委員会	3 回
社会参画委員会	2 回
安全委員会	6 回
家事援助・育児支援事業開拓分科会	3 回
自主事業運営分科会	4 回
世話役会議	開催無し
班長会議	開催無し

(2) 事務局機能の強化

正規職員 10 名(事務局長 1 名、次長 1 名、次長補佐 1 名、常勤職員 7 名)、嘱託職員 8 名、臨時職員 9 名。

①センター事業に関する情報収集と情報発信に努めました。

②経費の節減及び効率的な経営に努めました。

③インボイス制度導入への対応

・事務局内に PT を立ち上げました。

・新たな納税負担の備えとして特定資産を積み上げました。

④第 5 次経営計画の策定準備に着手しました。

⑤課長会の定期開催など、事務局内の情報共有体制を整備しました。

⑥車両(軽トラック 2 台)を更新購入しました。

⑦事務所内に Wi-Fi 環境を整備しました。(事務所 4 階教室)(再掲)

事業報告の附属明細書

令和３年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項」及び「定款第 40 条第 1 項第 2 号」に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

公益社団法人新宿区シルバー人材センター　会長　保　髙　健　彦